

1月 給食だより



おひさま岡町保育園 12月27日発行

よいお年をお迎えください

今年の冬は、例年に比べ感染症の大きな流行もなく毎日元気に過ごせたことをうれしく思います。

幼児では毎日給食の残飯がなく、どの子もさまざまな食材を意欲的に食べる力が育っています。乳児の発表会で紹介した乳児期の好みが出てくる時に、嫌だなという思いを受け止めてもらったり、大好きな先生や友だちと一緒に楽しい経験を積み重ね、共に食べる心地よさを感じながら過ごしてきたことが今の幼児の姿につながっていると思っています。

来年も、おいしく楽しく食べ、元気いっぱいな毎日が過ごせますように。保護者の皆様と子どもたちの成長を共に見守っていきたくと思っています。

<1月の給食は…>

早春にいち早く芽吹く七草には邪気を払う力があると言われていて、そのため、無病息災を祈って七草粥を食べます。

また七草はいわば日本のハーブと言われ、胃腸に負担のかからないお粥にする

ことで、正月疲れが出始めた胃腸の回復によいとされています。5日(金)の給食で食べます。

七草粥



おもちも、ハレの日には食べるとされており、鏡餅には神様が宿ると言われています。

今年度は、9日(火)に「鏡開き」をしたいと思います。

年神様にお供えした物を食べることで、その年一年健康に過ごせると言われています。鏡開きには無病息災を願う意味も込められています。みんなで今年一年の健康を願いながら、伝統行事を楽しめたらと思っています。

“お家の味”

教えてください!

10日(水)は、みんなで雑煮クッキングをします。子どもたちにお家の味を聞きながら、みんなで作って味わいたいと思います。お正月は、ぜひ子どもたちに“お家の味”を伝えながら雑煮を食べてくださいね。どんな雑煮が出来上がるか、今から楽しみです。



PFAS(ピーファス)って知っていますか? ~体内に残る有害物質~



←その水安全ですか?



←その水で育った野菜は安全ですか?

人工的に作られた有機フッ素化合物の総称がPFASです。自然界に放出されると、ほとんど分解されないことから「永遠の化学物質=パーエバーケミカル」と呼ばれています。

水や油をはじき熱に強いという特性があり、1940年代から産業利用されていて、焦げつきにくいフライパンや防水服、食品の包み紙などの身近な日用品から、航空機の火災などで使われる泡消火剤や半導体、自動車の部品にまで幅広く利用されてきました。

そういった工場からの排水が川に流れ、PFASを含んだ井戸水や川から取水した水道水を通じて私たちの体の中に取り込まれる恐れがあります。

PFASのうち「PFOS」「PFOA」は特に国際条約で製造・使用・輸入が禁止されています。国際がん研究機関は、PFOAを発がん性の恐れがある物質に分類しています。



<指摘されている危険性>

腎臓がんや前立腺がん、潰瘍性大腸炎、甲状腺疾患の発症
赤ちゃんの発育不全、コレステロール値の上昇など



ヒトへの有害性が指摘された一部のPFASについては廃絶する方向に進んでいますが、これまで工場や基地から排水などとともに出されたPFASは長く環境に残るため、今後も影響が懸念されています。こういった、身近に潜む有害物質にも目を向けながら、どう向き合っていくのかを共に考えていけたらと思っています。



給食まつり大成功! ~おひさまキラキラフェスティバル~

お弁当についてのたくさんの感想を頂きました。

普段給食を食べる機会のないおばあちゃんにも食べさせてあげられて、とてもよかったです。

長女も『なつかしい! めちゃおいしい!』と嬉しそうでした。

普段子どもが食べている給食を知れてよかったです。

たくさんの保護者の方や卒園児、おじいちゃん、おばあちゃんにも味わって頂けたことをうれしく思いました。今後も、親子で給食を味わったり、親子でクッキングを楽しんだり、みんなで『食べること』を楽しむ機会を企画できたらと思っています。

さまざまなご要望、ご意見お待ちしております。